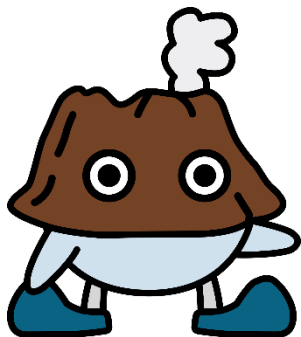




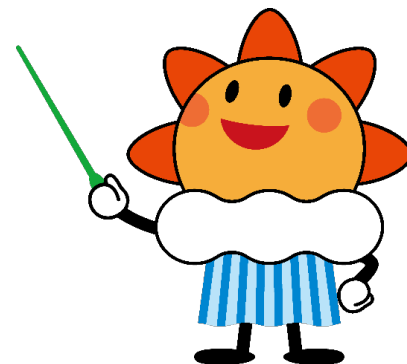
向こう3か月の 天候の見通し

3か月予報
(2026年11～2027年1月)

福岡管区気象台 気象防災部予報課
(令和8年10月20日14時発表)



ぼるけん



はれるん

3か月予報のポイントと留意点（2026年11月～2027年1月）

予報のポイント

- 向こう3か月の気温は、**寒気の影響が小さい**ため、**高い**でしょう。
- 向こう3か月の降水量は、**低気圧の影響を受けやすい**ため、**多い**でしょう。

留意点

- 九州北部地方は、**7月7日頃の梅雨明け以降、降水量の少ない状態が続いています。向こう3か月の降水量は多い見込み**ですが、平年でも雨の少ない時期となるため、**これまでの少雨による影響が続く所がある**でしょう。**水の管理に注意**してください。
- **気温は高い**見込みですが、一時的に強い寒気が流れ込む時期があり、気温の変動が大きいでしょう。体調管理等に注意してください。
- **最新の予報・気象情報等**に留意してください。

秋～冬の九州北部地方の平年の天候経過

10～3月
平年の天候

10月
秋

11月

12月

1月
冬

2月

3月
春

低気圧と高気圧が交互に通る
天気は数日の周期で変わる

曇りや雨または雪の日が多い
※大分は晴れの日が多い

周期変化

平年値の期間
1991～2020年

晴れの日が
多い

予報期間

気温・降水量・日照時間の
月別の平年値

11月～1月の
平年の天候のポイント

- 11月は周期変化の天候
- 冬は冬型の気圧配置となりやすく、曇りや雨または雪の日が多いが、降水量は少ない。
- 1月（1月下旬～2月上旬）は最も気温が低い時期にあたる

福岡

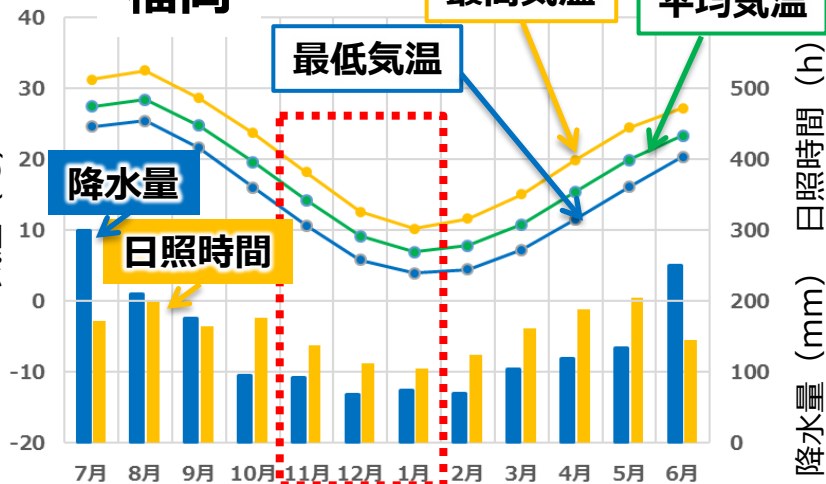
最高気温

平均気温

最低気温

降水量

日照時間



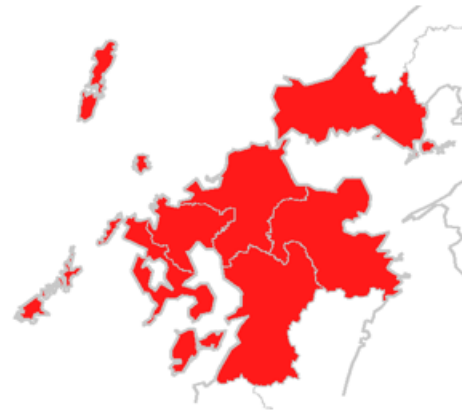
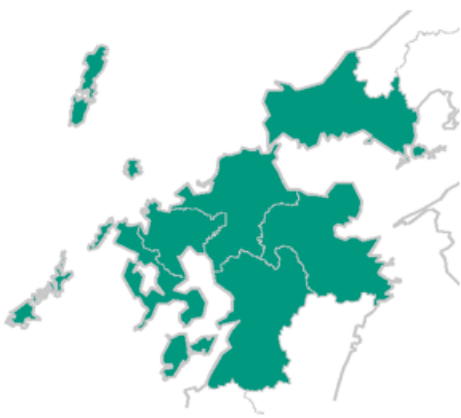
九州北部地方の天候の特徴

https://www.data.jma.go.jp/cpd/j_climate/kyuhoku/main.html

Japan Meteorological Agency

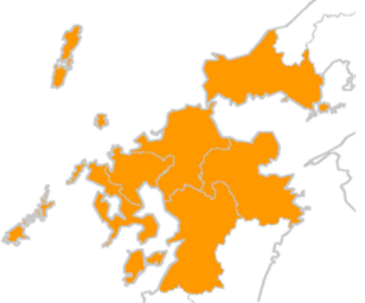
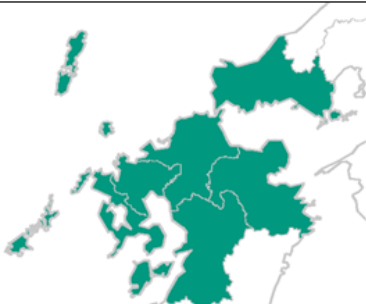
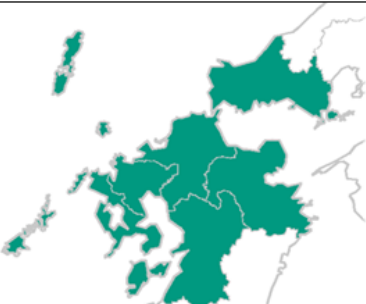
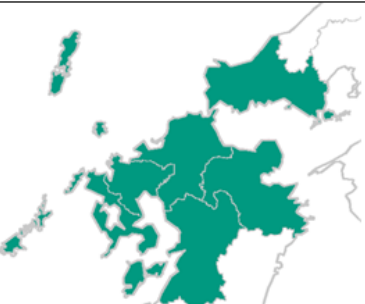
天候の見通し（2026年11月～2027年1月）

向こう3か月（11～1月）の平均気温・降水

九州北部地方 (山口県を含む)	 平均気温（3か月） 11～1月	 降水量（3か月） 11～1月
	低 10 並 30 高 60 高い 見込み	少 20 並 30 多 50 多い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 高い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 □ 平年並 低い確率 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上	 多い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 □ 平年並 少ない確率 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上

9月18日発表の寒候期予報の内容に変更はありません。

天候の見通し（月別）

	11 月	12 月	1 月
天候	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。	低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。
気温 	低 10 並 30 高 60 高い 見込み	低 20 並 30 高 50 高い 見込み	低 20 並 30 高 50 高い 見込み
			
降水量 	少 20 並 30 多 50 多い 見込み	少 20 並 30 多 50 多い 見込み	少 20 並 30 多 50 多い 見込み
			

気温

高い確率
70%以上
60%
50%
40% (20:40:40)
40% (30:30:40)
平年並
平年並
低い確率
40% (40:30:30)
40% (40:40:20)
50%
60%
70%以上

降水量

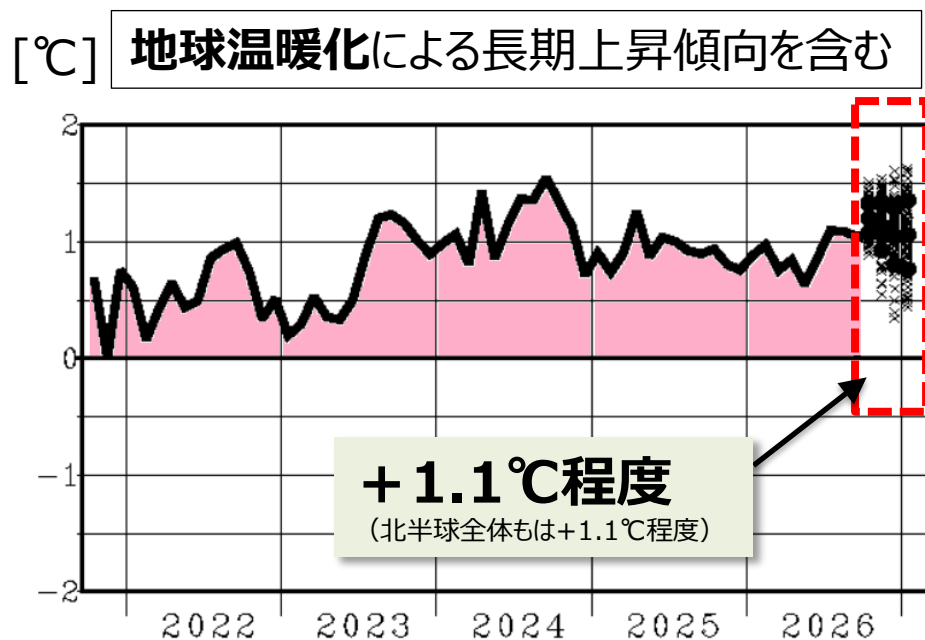
多い確率
70%以上
60%
50%
40% (20:40:40)
40% (30:30:40)
平年並
平年並
少ない確率
40% (40:30:30)
40% (40:40:20)
50%
60%
70%以上

先月の3か月予報からの変更点

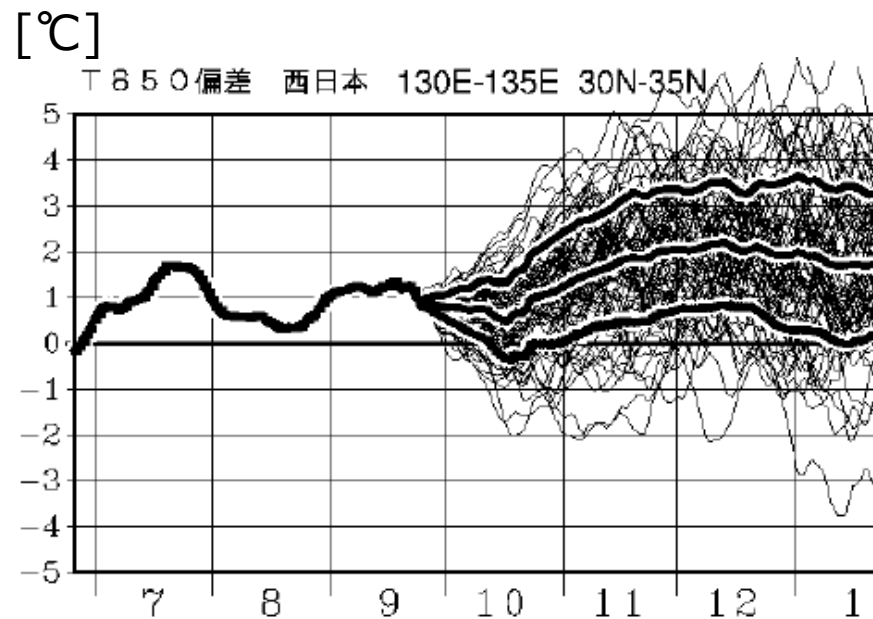
- ・11月の気温を高温側へ変更：暖かい空気に覆われやすい傾向が強まったため。
- ・11月の降水量を多雨側へ変更：低気圧の影響をより受けやすい見通しとなったため。

予報の根拠① 大気の温度の予測

北半球中緯度の大気の温度は**高い**状態が続く。



北半球中緯度の大気の温度の解析値と予測
対流圏（高さ約1500～10000m）気温平年差

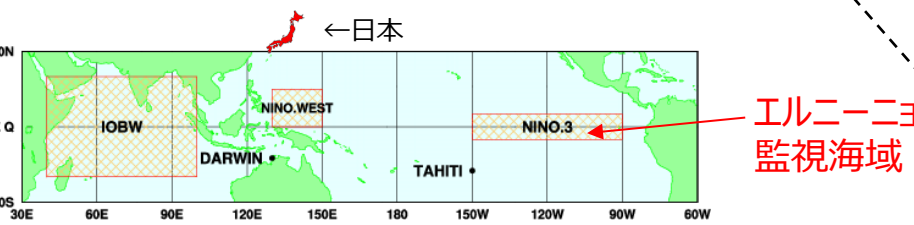
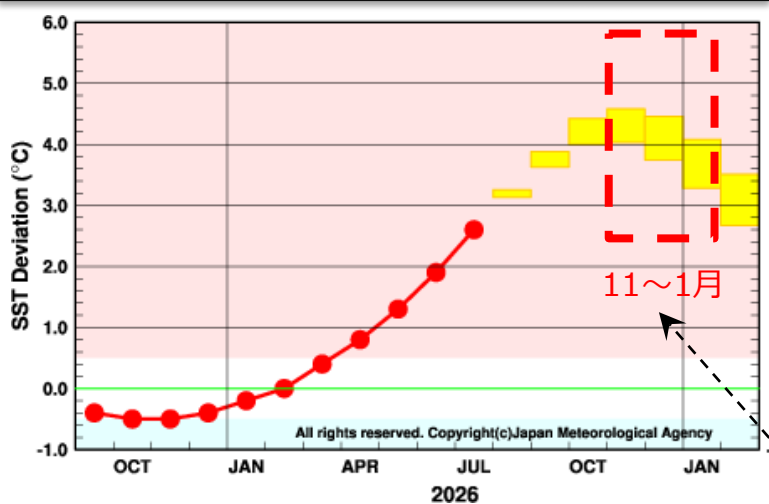


西日本の上空約1500m付近の気温平年差
（向こう3か月の予測）

予報の根拠② 熱帯域の海面水温の予測

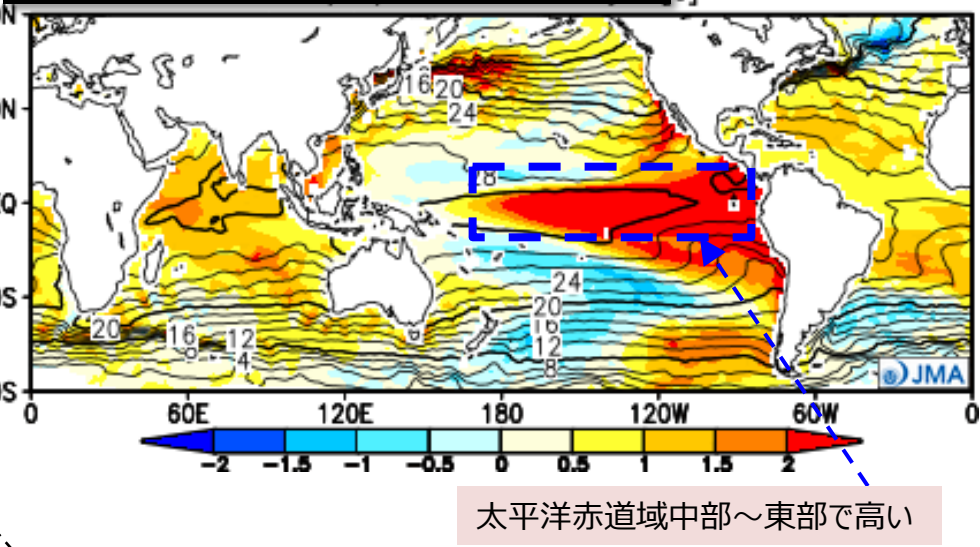
2026年春から続いている**エルニーニョ現象**は、9月に入り過去最大の強さとなっている。
今後、冬にかけて過去最大の強さの**エルニーニョ現象**が続く見込み（100%）。

エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値の差



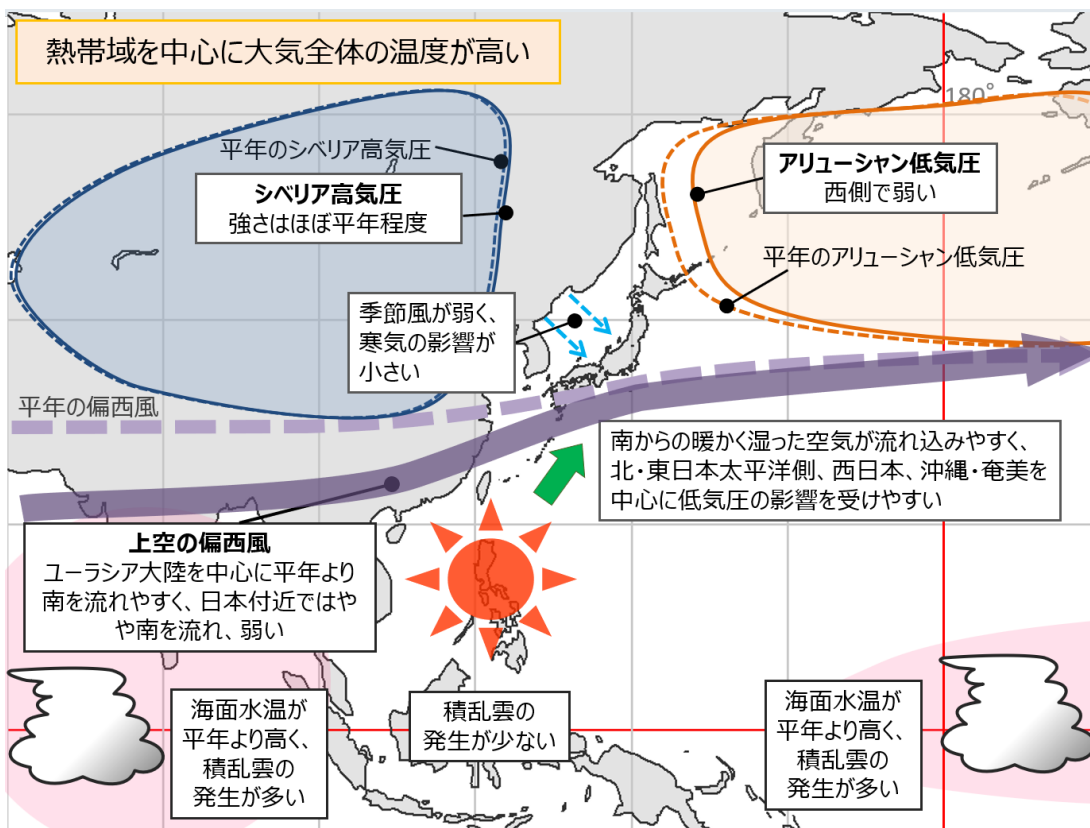
エルニーニョ監視速報 URL : https://www.data.jma.go.jp/cpd/elnino/kanshi_joho/kanshi_joho1.html

海面水温の予測図（11~1月）



9月の基準値の差（月平均）は、**+4.0°C**と高く、1949年以降で最も高かった1997年12月の+3.6°Cを超えた。

予想される海洋と大気の特徴



【熱帯域の海面水温と対流活動】

- **エルニーニョ現象**が続く見込みで、海面水温は太平洋赤道域の東部～中部とインド洋西部で高い。
- 積乱雲の発生は、太平洋赤道域の東部～中部とインド洋西部で多く、フィリピン付近では少ない。

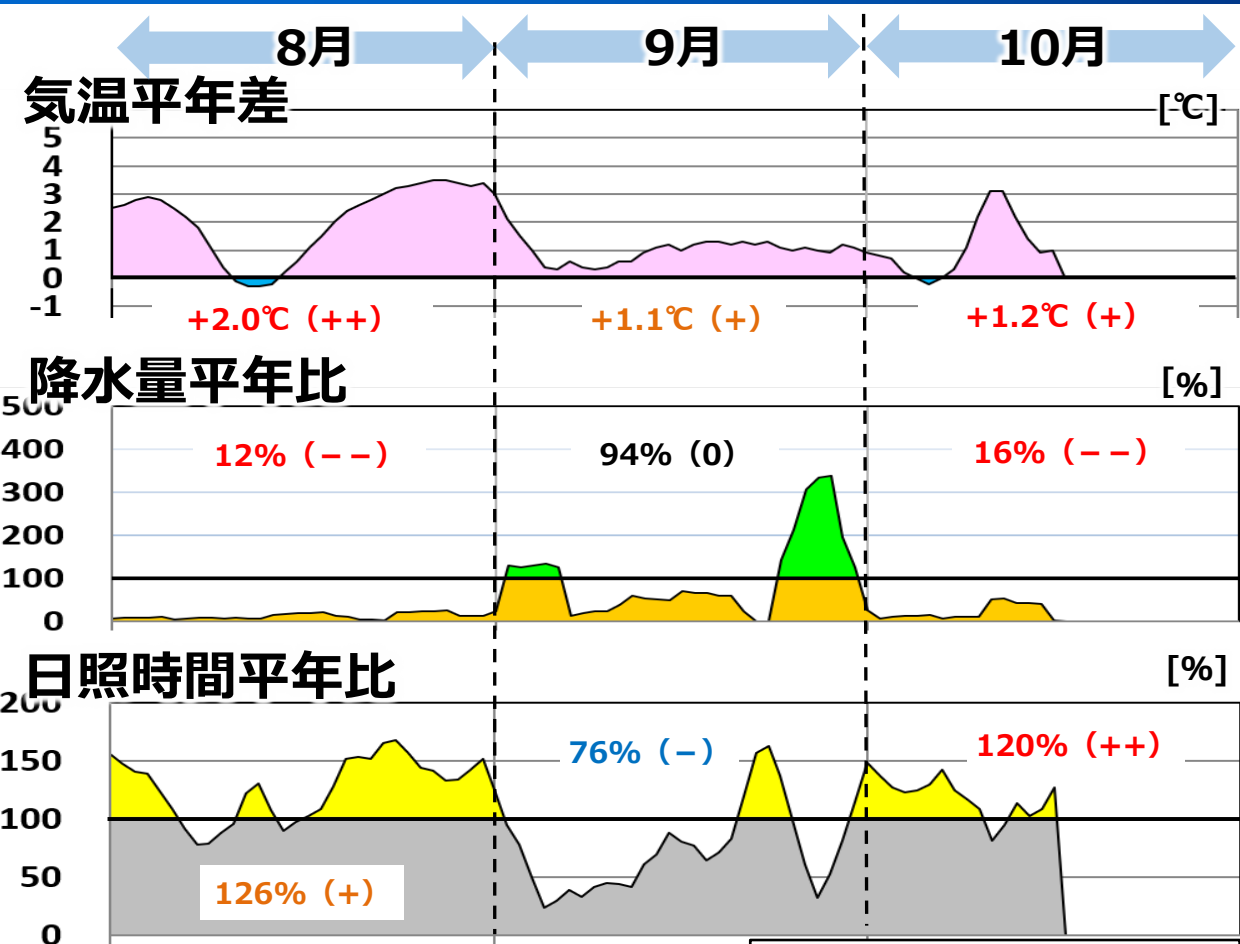
気温のポイント

- **11月～1月は高温予想。**
- 地球温暖化やエルニーニョ現象の影響で、熱帯域を中心に**大気全体の温度が高い。**
- 上空の偏西風はユーラシア大陸を中心に平年より南を流れやすく、日本付近ではやや南を流れ、弱い見込み。
- シベリア高気圧の強さはほぼ平年程度だが、アリューシャン低気圧は西側で弱い
ため、日本付近は季節風が弱く、寒気の影響が小さい見込み。

降水量のポイント

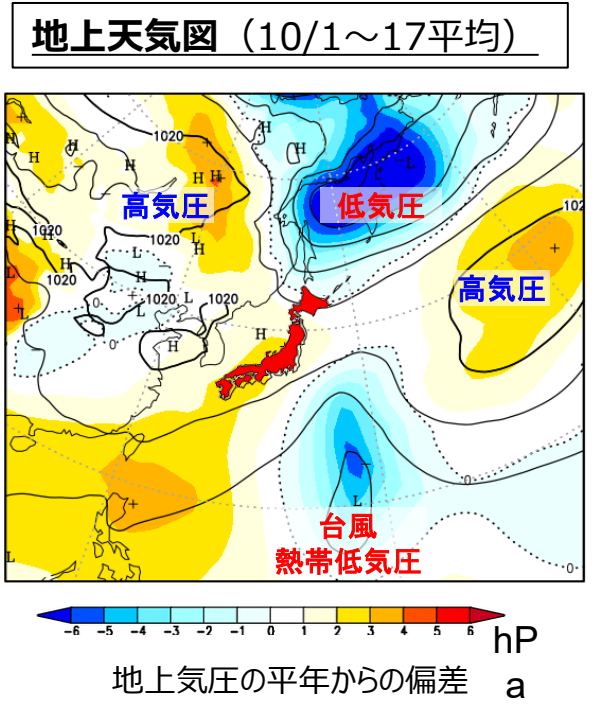
- **11月～1月は降水量が多い予想。**
- フィリピン付近は高気圧となりやすいため、日本付近は南からの暖かく湿った空気が流れ込みやすく、低気圧の影響を受けやすい見込み。

九州北部地方の天候経過（8～10月）



【10月（18日まで）の天候】

- 暖かい空気に覆われやすかったため、気温は高かった。
- 移動性高気圧に覆われやすかったため、降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。



数値は月平年差（比）・階級区分値
10月の値は18日までの暫定値
グラフは5日移動平均値でプロット

階級区分値	
(++)	: かなり高い/かなり多い
(+)	: 高い/多い
(0)	: 平年並
(-)	: 低い/少ない
(--)	: かなり低い/かなり少ない

11～1月の予報のポイントと留意点

予報のポイント

- 向こう3か月の気温は、**寒気の影響が小さい**ため、**高い**でしょう。
- 向こう3か月の降水量は、**低気圧の影響を受けやすい**ため、**多い**でしょう。

留意点

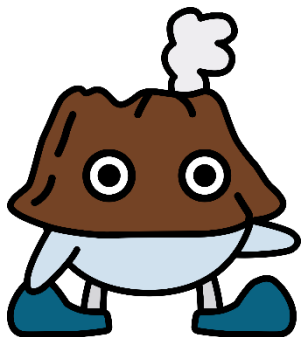
- 九州北部地方は、**7月7日頃の梅雨明け以降、降水量の少ない状態が続いています。向こう3か月の降水量は多い見込み**ですが、平年でも雨の少ない時期となるため、**これまでの少雨による影響が続く所がある**でしょう。**水の管理に注意**してください。
- **気温は高い**見込みですが、一時的に強い寒気が流れ込む時期があり、気温の変動が大きいでしょう。体調管理等に注意してください。
- **最新の予報・気象情報等**に留意してください。

次回の3か月予報の発表は、**11月24日（火）**です。

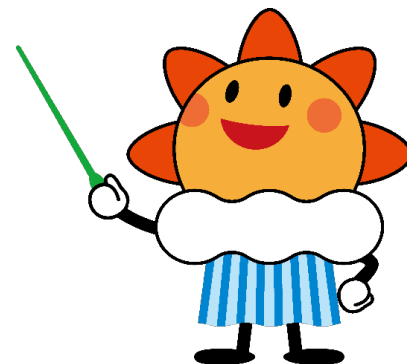




参考資料



ぼるけん

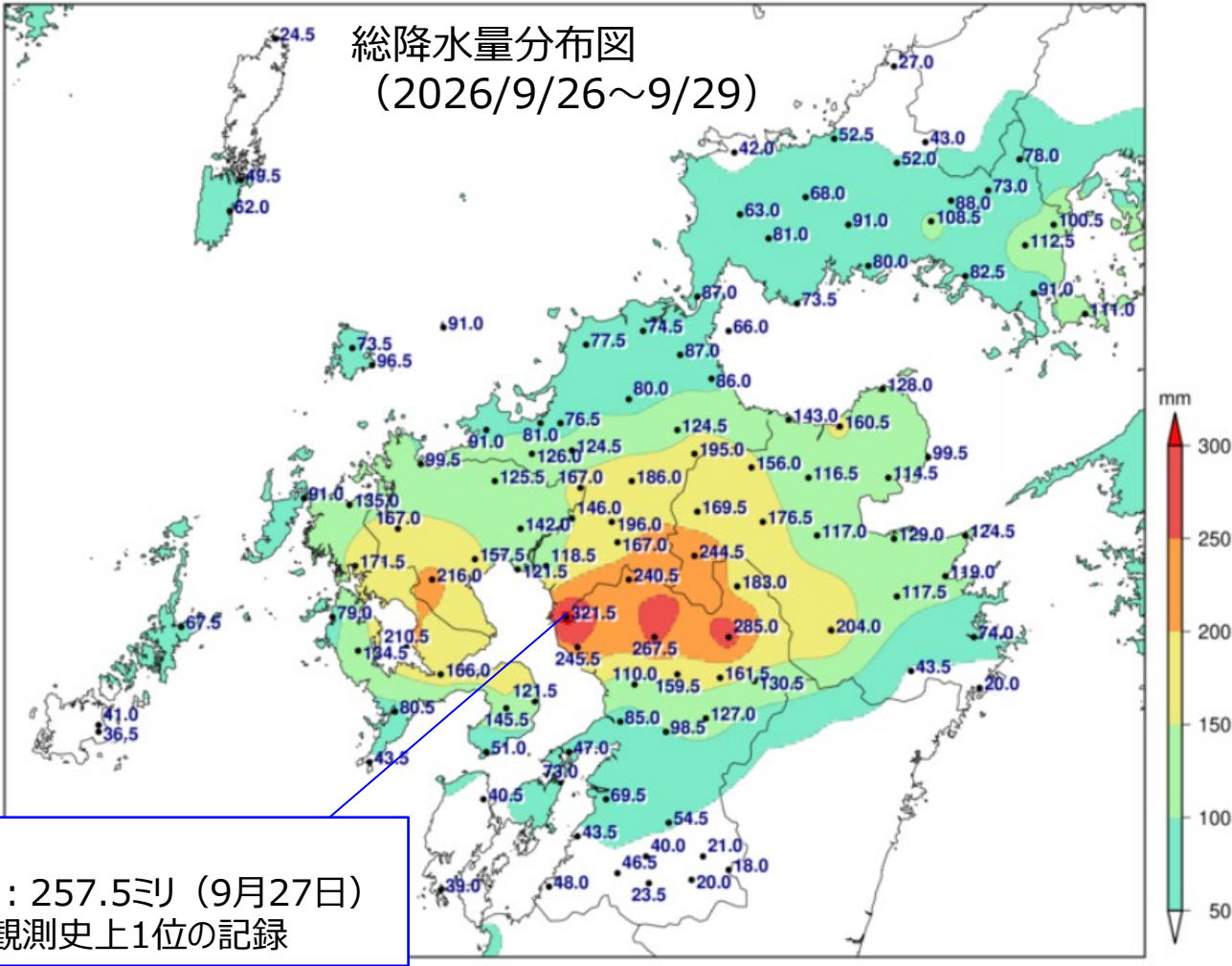


はれるん

9月下旬の大雨

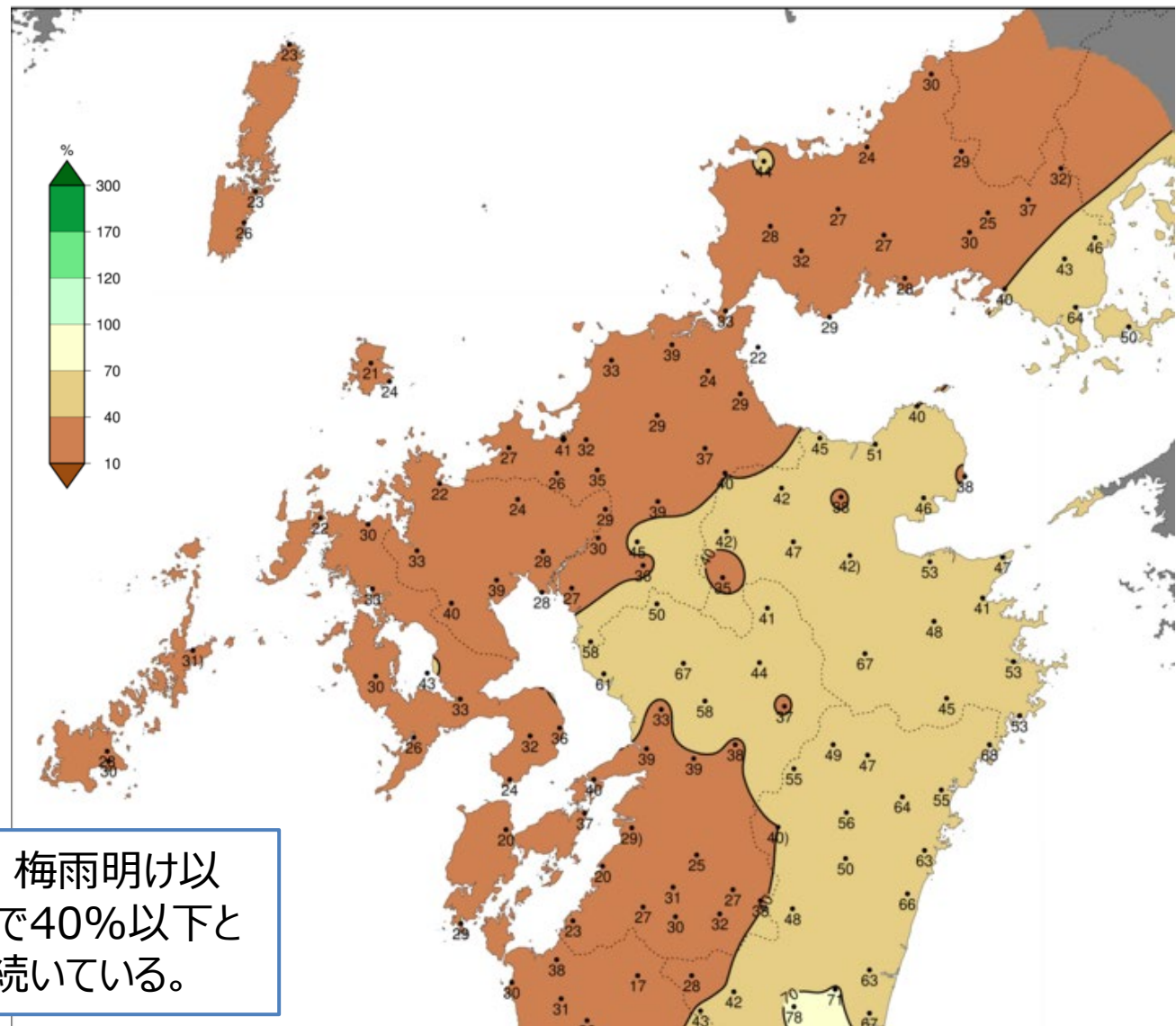
9月27日から28にかけて停滞する前線により九州北部地方では大雨となった。

福岡県内の
アメダス降水量（mm）
（9/26～9/29）



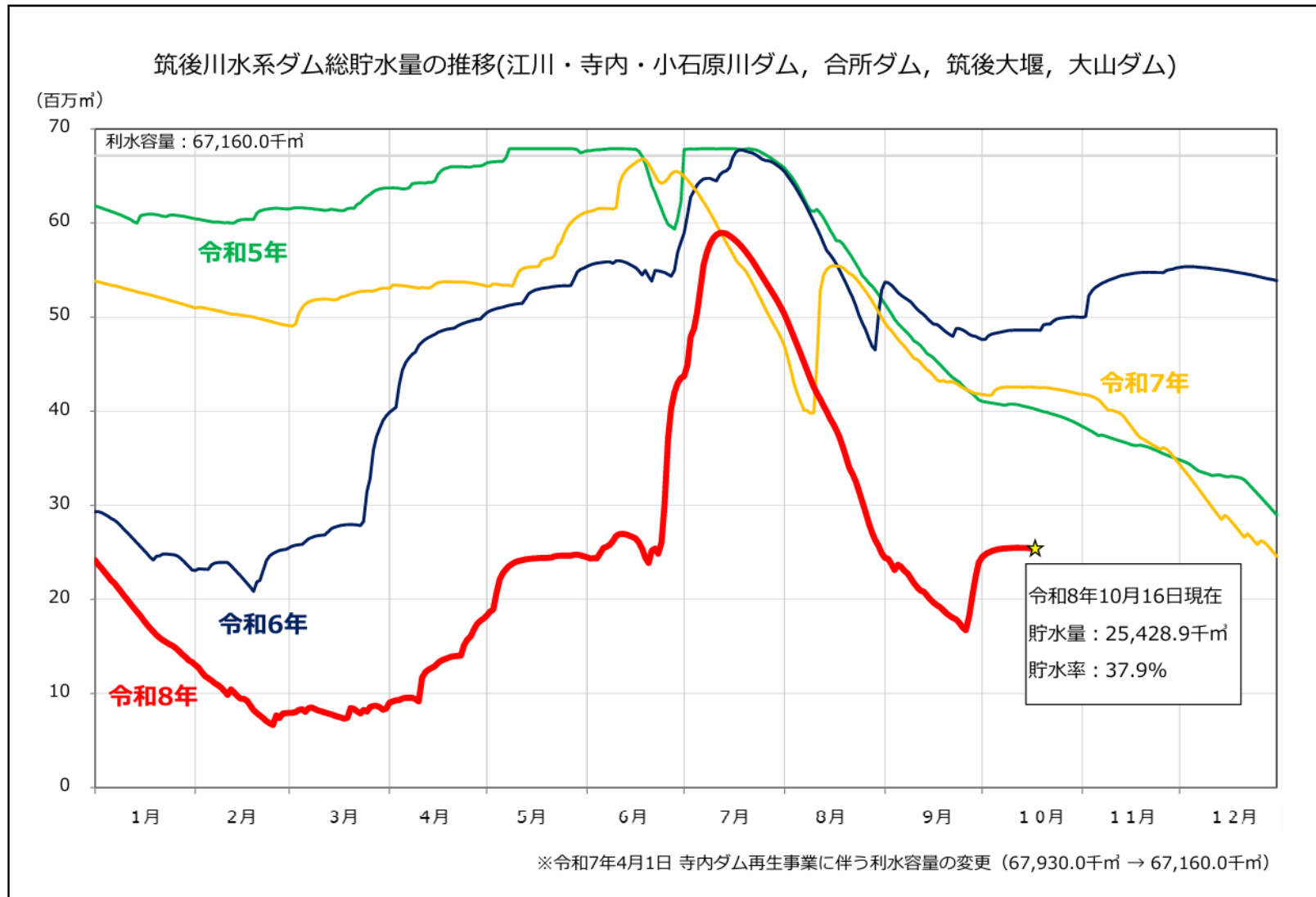
小呂島	91.0
宗像	77.5
八幡	74.5
空港北町	66.0
東谷	87.0
行橋	86.0
飯塚	80.0
前原	91.0
福岡	81.0
博多	76.5
太宰府	124.5
添田	124.5
早良脇山	126.0
朝倉	186.0
英彦山	195.0
久留米	146.0
耳納山	196.0
黒木	167.0
柳川	118.5
大牟田	321.5

総降水量平年比
(7月7日～10月18日)



9月末に大雨があったが、梅雨明け以降の降水量は広い範囲で40%以下と降水量が少ない状態が続いている。

ダムの貯水率時系列（筑後川水系）



福岡地区水道企業団HP : <https://www.f-suiki.or.jp/waterquality-info/water-info/>

最近の11～1月の天候

過去10年間の九州北部地方の地域平均の平均気温（平年差℃）と階級

年	11月～1月	11月	12月	1月
2025/26	0.5	0.5	1.2	-0.1
2024/25	0.5	1.8	-0.2	-0.2
2023/24	0.9	0.5	0.8	1.3
2022/23	0.3	2	-1.4	0.3
2021/22	-0.2	-0.4	0	0
2020/21	0.1	0.9	-0.9	0.1
2019/20	1.5	0.5	1.3	2.6
2018/19	0.6	0	1	0.9
2017/18	-1.3	-0.8	-1.8	-1.3
2016/17	0.7	0.3	1.4	0.4

かなり高い

高い

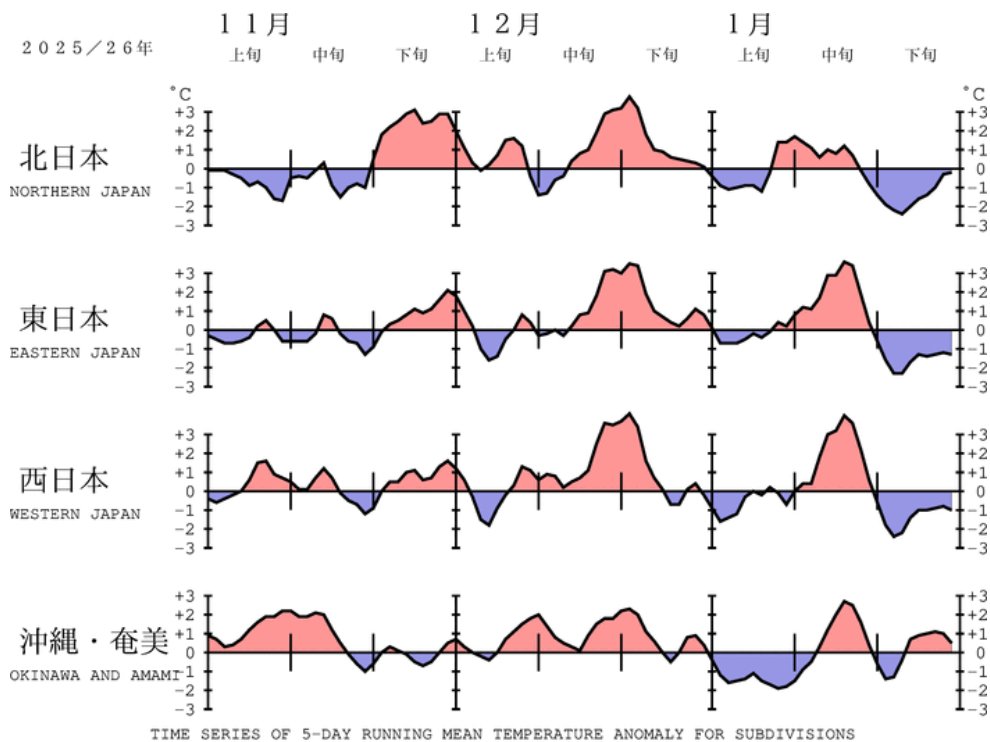
平年並

低い

かなり低い

年の色は、赤：秋にエルニーニョ現象が発生している
青：秋にラニーニャ現象が発生している

2025/26年 地域平均気温平年差

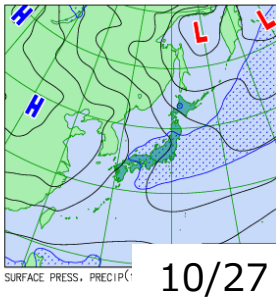
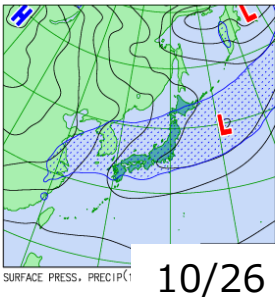
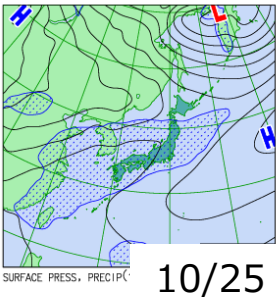
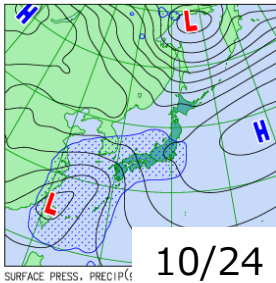
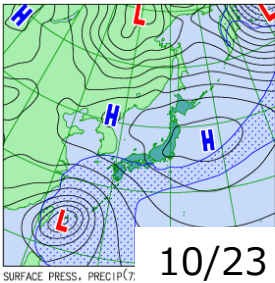
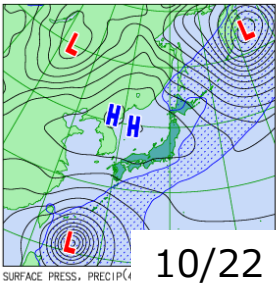


地域平均気温平年差の5日移動平均時系列
更新日：2026年2月2日

- 九州北部地方における最近10年の11～1月の平均気温は、平年並か高い年が多かった。
- 昨年（2025年）は12月は全国的に気温が高かった。

週間天気予報（10/20 11時発表）

予想天気図



L：低気圧 H：高気圧
陰影部：24時間で5mm以上の予想降水域

週間天気予報

（福岡県）

福岡県の天気予報（7日先まで）								
2026年10月20日11時 福岡管区気象台 発表								
日付	今日 20日(火)	明日 21日(水)	明後日 22日(木)	23日(金)	24日(土)	25日(日)	26日(月)	27日(火)
福岡県	曇時々晴 	曇一時雨 	晴時々曇 	曇後雨 	曇時々雨 	曇一時雨 	曇一時雨 	曇
降水確率(%)	-/-/10/10	20/80/40/10	10	60	70	60	50	40
信頼度	-	-	-	B	B	C	C	C
福岡 気温 (°C)	最高 30	25	23 (20~24)	22 (21~25)	24 (22~29)	26 (23~31)	25 (24~30)	22 (20~25)
	最低 -	23	16 (14~18)	16 (15~18)	18 (16~20)	21 (18~22)	19 (16~22)	17 (14~19)
向こう一週間（明日から7日先まで）の平年値								
降水量の7日間合計				最低気温		最高気温		
福岡 平年並 5 - 22mm				14.4°C		22.2°C		

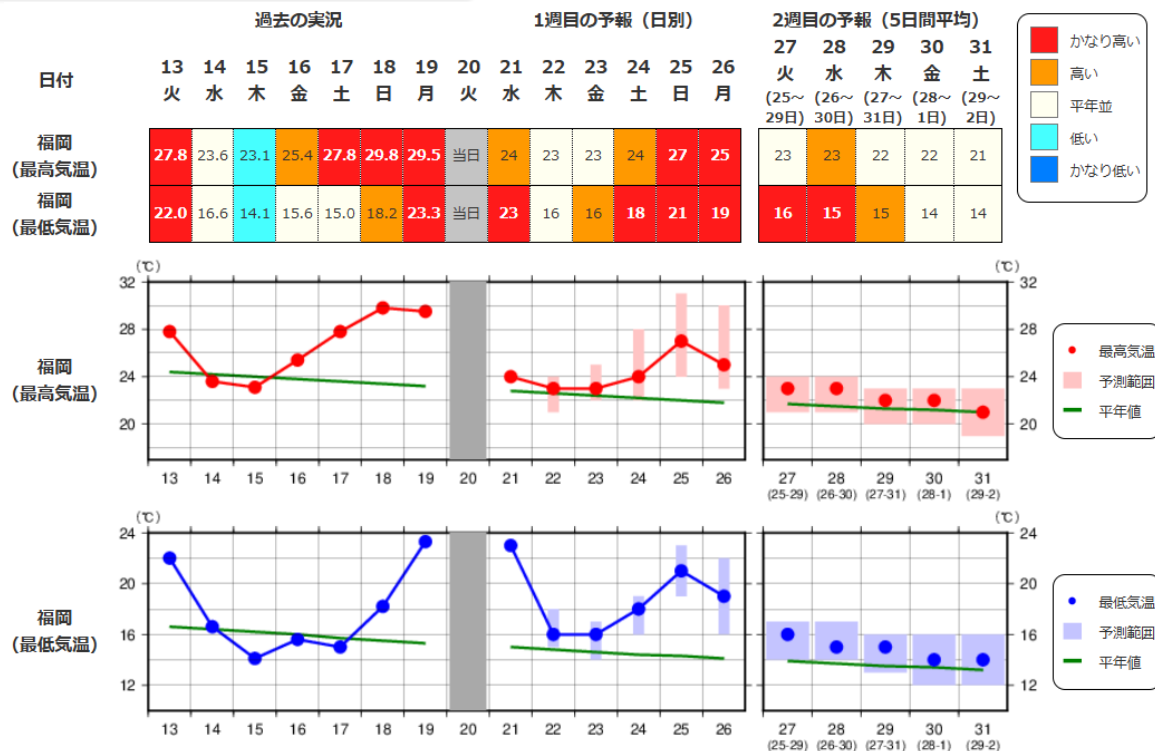
向こう1週間の見通し

曇りや雨の降る日が多いが、27日は晴れる所がある。
23日から24日頃は、前線の活動の程度によっては警報級の大雨となるおそれがある。

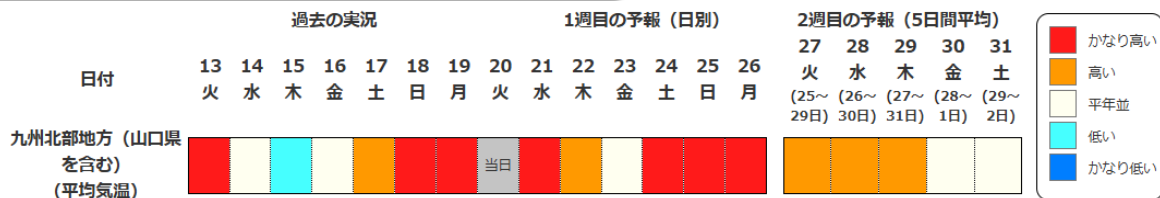
2週間気温予報

2週間気温予報（福岡）

（10/20 11:00更新）



2週間気温予報（九州北部地方）



1か月予報（10/15発表）

毎週木曜日14時30分発表

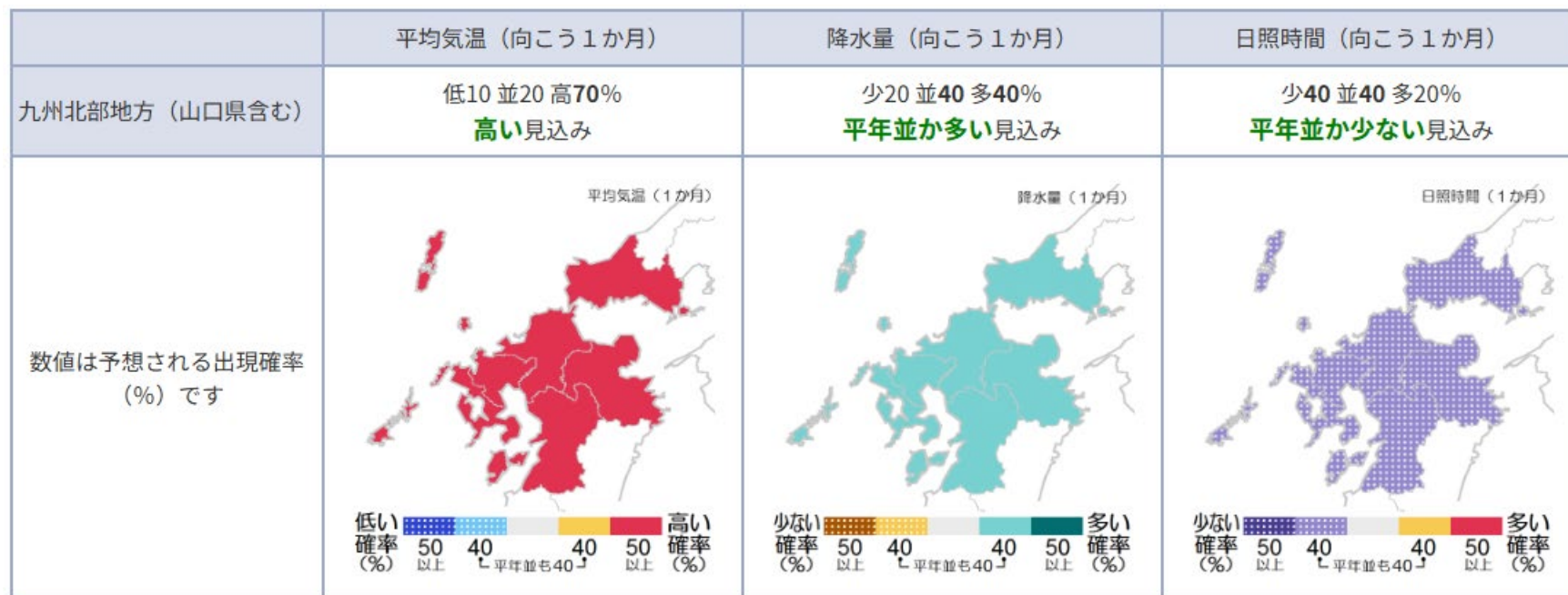
《特に注意を要する事項》

期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

予報のポイント

- ✓ 暖かい空気に覆われやすいため向こう1か月の気温は高く、期間のはじめはかなり高くなる見込みです。
- ✓ 低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多い見込みです。

向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

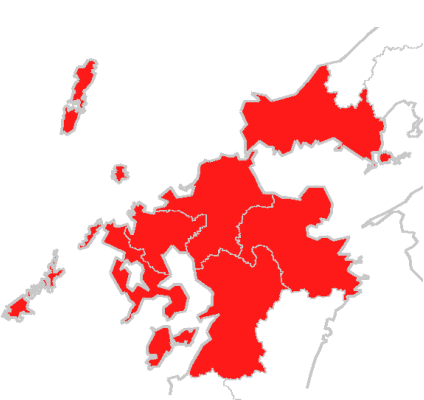
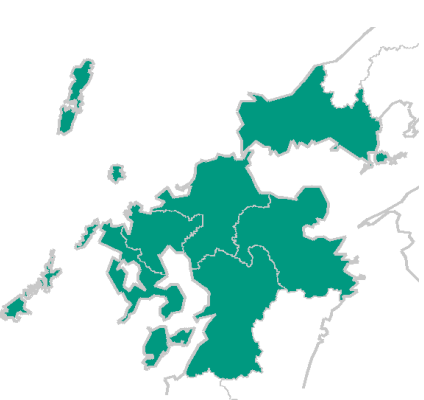


寒候期予報（2026年12月～2027年2月）

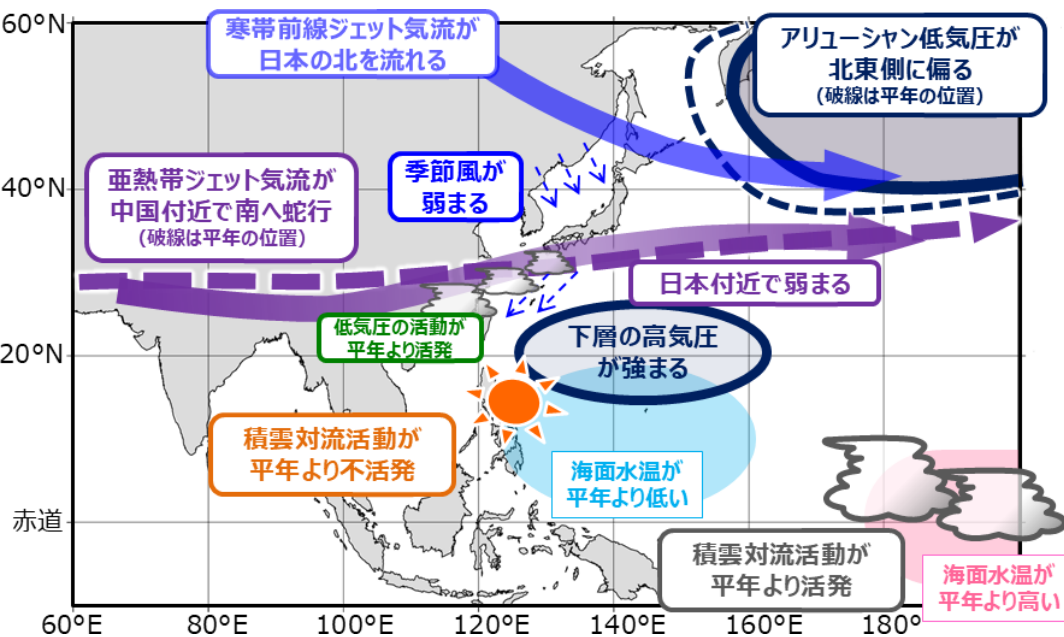
予想される冬（12～2月）の天候

平年に比べ、曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

冬（12～2月）の平均気温・降水量

九州北部地方 (山口県を含む)	 平均気温（3か月） 12 ～ 2 月	 降水量（3か月） 12 ～ 2 月
	低 10 並 30 高 60 高い 見込み	少 20 並 30 多 50 多い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 高い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上 低い確率	 多い確率 70%以上 60% 50% 40% (20:40:40) 40% (30:30:40) 平年並 40% (40:30:30) 40% (40:40:20) 50% 60% 70%以上 少ない確率

エルニーニョ現象時の冬の海洋と大気の特徴



- 平均気温：西日本で平年並か高い。
- 降水量：東日本太平洋側、沖縄・奄美が多い。
- 日照時間：西日本太平洋側で少ない。東日本太平洋側で平年並か少ない。

太平洋熱帯域の海面水温

西部：低い 中・東部：高い

太平洋赤道域の対流活動

中・東部：活発
フィリピン周辺：不活発

赤道域対流活動の東西の偏りにより

- ✓ 上空の偏西風は中国周辺で南へ、日本周辺で弱まる
- ✓ アリューシャン低気圧は北東側に偏る
(= 西高東低の気圧配置が続かない)
- ✓ フィリピン周辺では、下層の高気圧が強まる

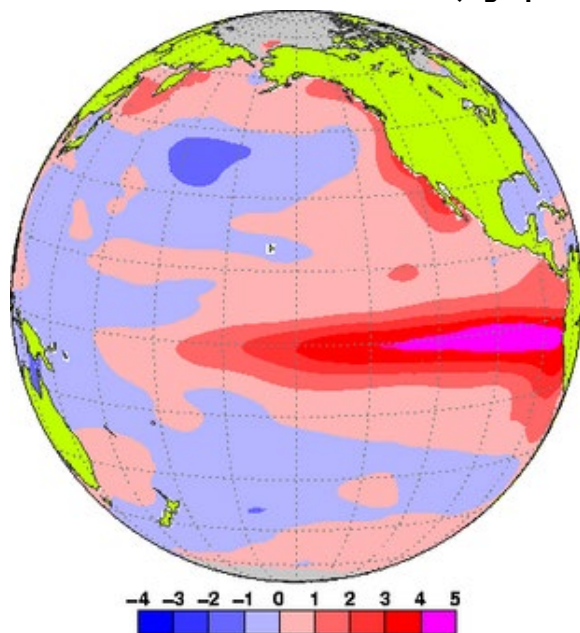
- ✓ 日本付近の季節風は弱まる
- ✓ 沖縄・奄美～本州周辺では低気圧の影響を受けやすい

気象庁HP「エルニーニョ／ラニーニャ現象が日本の天候に影響を及ぼすメカニズム」より
https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/el_nino/learning/faq/whatiselnino3.html

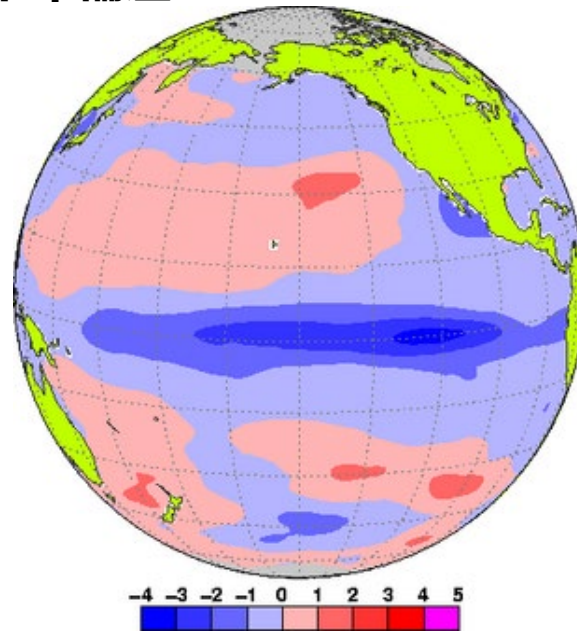
エルニーニョ現象・ラニーニャ現象①

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなり、その状態が1年程度続く現象です。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象と呼ばれ、それぞれ数年おきに発生します。エルニーニョ現象やラニーニャ現象は、日本を含め世界中の異常な天候の要因となり得ると考えられています。

月平均海面水温平年偏差



エルニーニョ現象発生時
(1997年11月)

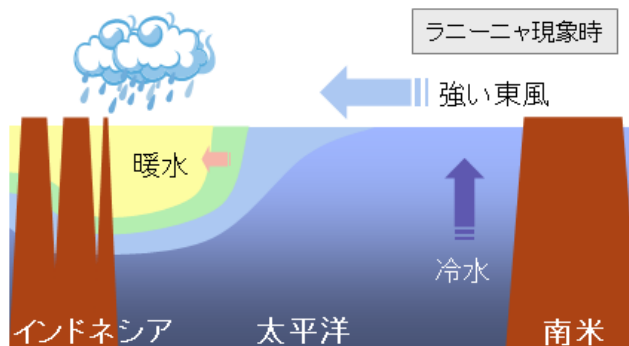
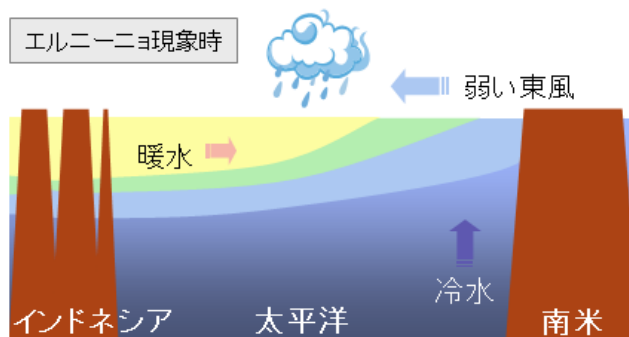
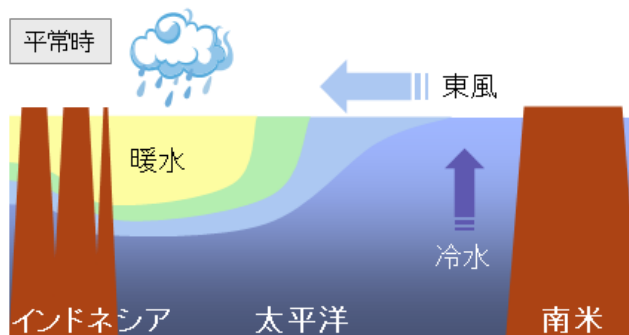


ラニーニャ現象発生時
(1988年12月)

気象庁ホームページ（エルニーニョ/ラニーニャ現象とは）

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/data/elnino/learning/faq/whatiselnino.html>

エルニーニョ現象・ラニーニャ現象②



平常時の状態

太平洋の熱帯域では、貿易風と呼ばれる東風が常に吹いているため、海面付近の暖かい海水が太平洋の西側に吹き寄せられています。西部のインドネシア近海では海面下数百メートルまでの表層に暖かい海水が蓄積し、東部の南米沖では、この東風と地球の自転の効果によって深いところから冷たい海水が海面近くに湧き上がっています。このため、海面水温は太平洋赤道域の西部で高く、東部で低くなっています。海面水温の高い太平洋西部では、海面からの蒸発が盛んで、大気中に大量の水蒸気が供給され、上空で積乱雲が盛んに発生します。

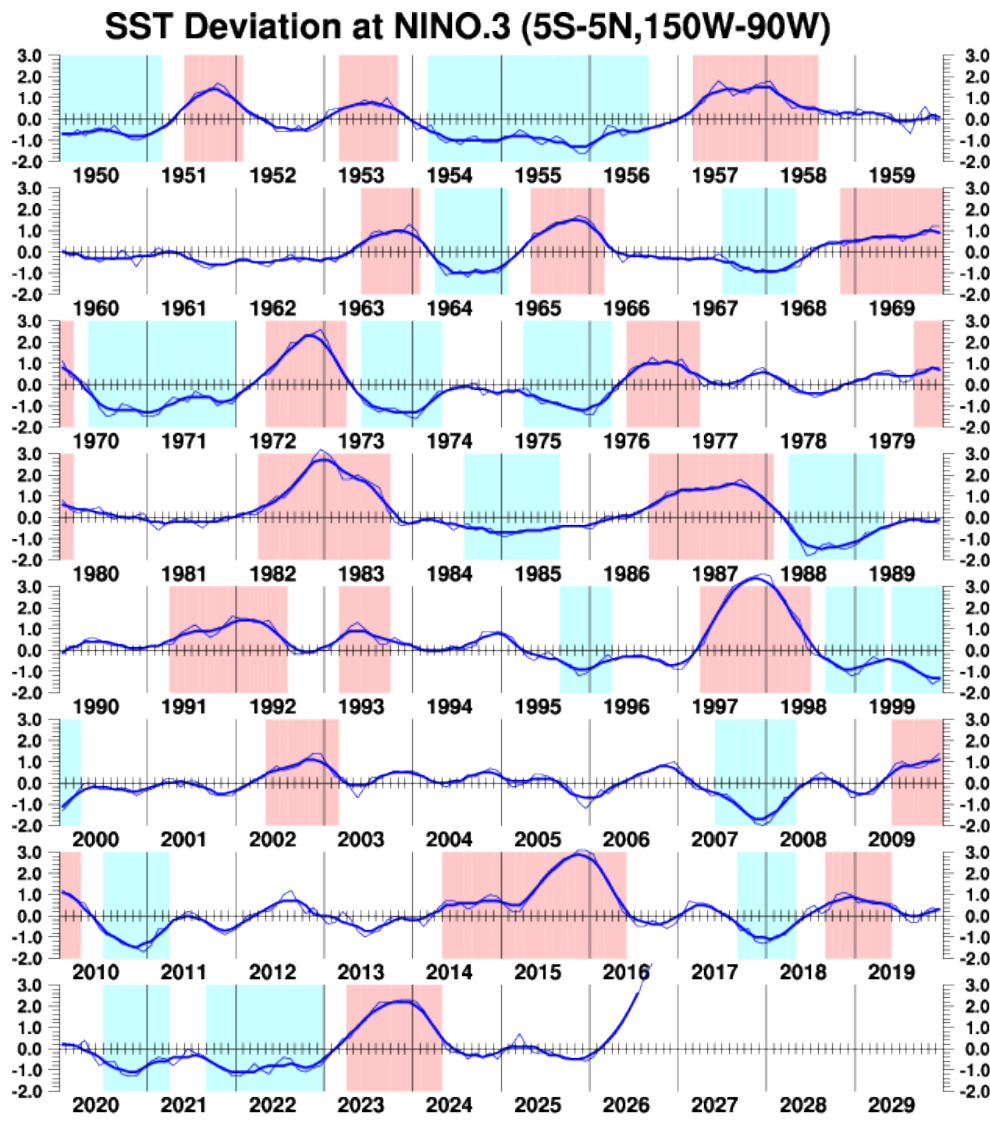
エルニーニョ現象時の状態

エルニーニョ現象が発生している時には、東風が平常時よりも弱くなり、西部に溜まっていた暖かい海水が東方へ広がるとともに、東部では冷たい水の湧き上がりが弱まっています。このため、太平洋赤道域の中部から東部では、海面水温が平常時よりも高くなっています。エルニーニョ現象発生時は、積乱雲が盛んに発生する海域が平常時より東へ移ります。

ラニーニャ現象時の状態

ラニーニャ現象が発生している時には、東風が平常時よりも強くなり、西部に暖かい海水がより厚く蓄積する一方、東部では冷たい水の湧き上がりが平常時より強くなります。このため、太平洋赤道域の中部から東部では、海面水温が平常時よりも低くなっています。ラニーニャ現象発生時は、インドネシア近海の海上では積乱雲がいっそう盛んに発生します。

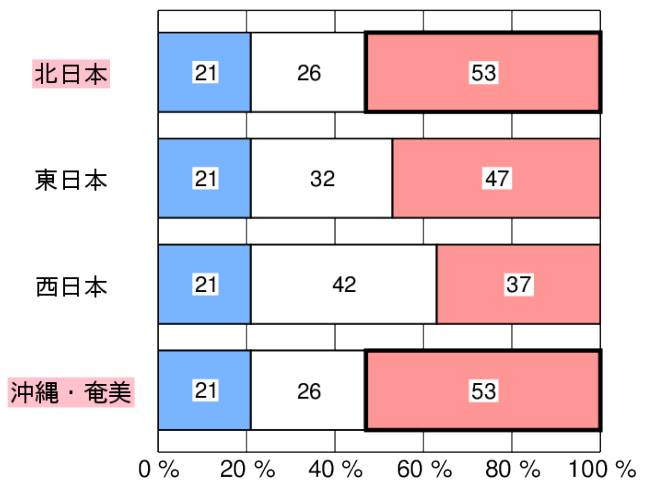
エルニーニョ現象・ラニーニャ現象の発生時期



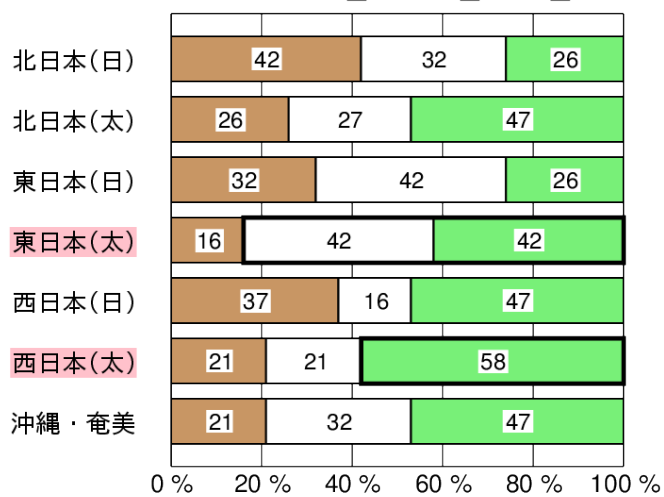
エルニーニョ現象			ラニーニャ現象		
発生期間	季節数	差の最大値 (月平均)	発生期間	季節数	差の最小値 (月平均)
			1949年秋～1950/51年冬	6	-1.0
1951年夏～1951/52年冬	3	+1.7			
1953年春～1953年秋	3	+1.0	1954年春～1956年夏	10	-1.6
1957年春～1958年夏	6	+1.8			
1963年夏～1963/64年冬	3	+1.3	1964年春～1964/65年冬	4	-1.2
1965年春～1965/66年冬	4	+1.7	1967年夏～1968年春	4	-1.0
1968年秋～1969/70年冬	6	+1.2	1970年春～1971/72年冬	8	-1.5
1972年春～1973年春	5	+2.6	1973年夏～1974年春	4	-1.6
			1975年春～1976年春	5	-1.4
1976年夏～1977年春	4	+1.3			
1979年秋～1979/80年冬	2	+0.8			
1982年春～1983年秋	7	+3.2	1984年夏～1985年夏	5	-0.9
1986年秋～1987/88年冬	6	+1.8	1988年春～1989年春	5	-1.8
1991年春～1992年夏	6	+1.6			
1993年春～1993年秋	3	+1.3	1995年秋～1996年春	3	-1.2
1997年春～1998年夏	6	+3.6	1998年秋～1999年春	3	-1.2
			1999年夏～2000年春	4	-1.6
2002年春～2002/03年冬	4	+1.4	2007年夏～2008年春	4	-2.0
2009年夏～2010年春	4	+1.4	2010年夏～2011年春	4	-1.7
2014年春～2016年春	9	+3.1	2017年秋～2018年春	3	-1.3
2018年秋～2019年春	3	+1.1	2020年夏～2021年春	4	-1.3
			2021年秋～2022/23年冬	6	-1.3
2023年春～2024年春	5	+2.3			

11～1月のエルニーニョ現象発生時の日本の天候の特徴

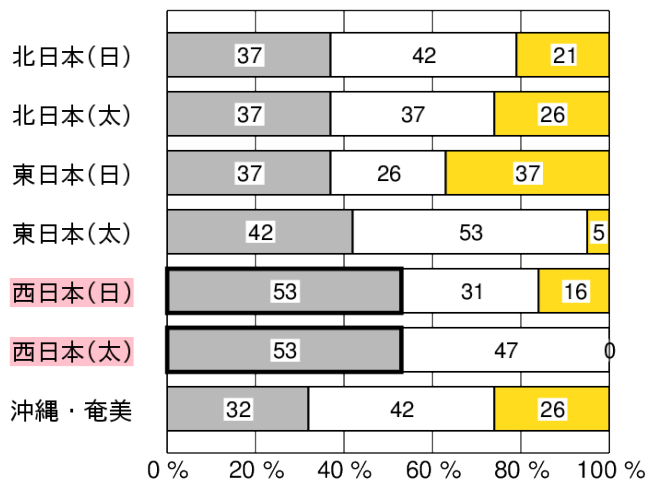
エルニーニョ現象が発生しているときの
平均気温 <11～1月> 低い 並 高い



エルニーニョ現象が発生しているときの
降水量 <11～1月> 少ない 並 多い



エルニーニョ現象が発生しているときの
日照時間 <11～1月> 少ない 並 多い



3か月（11～1月）の統計的に有意な傾向

- ・平均気温：北日本で高い
 沖縄・奄美で高い
- ・降水量：東日本太平洋側で平年並か多い
 西日本太平洋側で多い
- ・日照時間：西日本で少ない

季節予報とは？

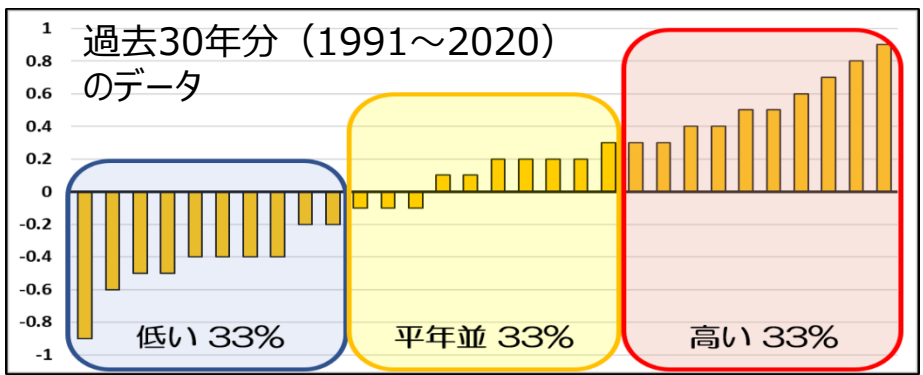
季節予報は、日々の天気ではなく、ある地域の大まかな天候（平年の気候と比べて、どのくらい偏った天候か）を予報します。

地域：日本全国を11地方に分類（右図）

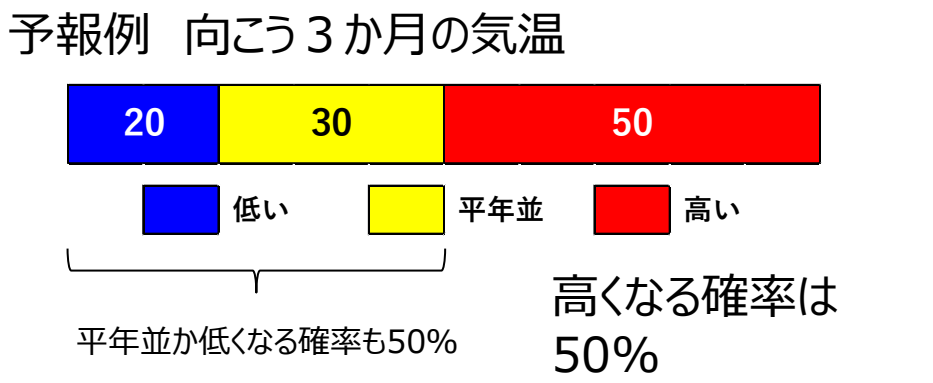
予報する要素

例） 1 か月間、3 か月間の平均気温
1 か月間、3 か月間の降水量
1 か月間、3 か月間の日照時間 など

予報は3つの階級
低い（少ない）・平年並・高い（多い）の
どの階級に入るかを予報します



現在が平年値期間の30年と同じ気候だとした場合、「高い」「平年並」「低い」という階級になる可能性は、それぞれ33%。



段階的に発表する防災気象情報（大雨）

- **大雨**の発生の**5日前**から、**早期注意情報**で、**警報級の大雨の可能性**を発表しています。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に
- **キキクル**や**気象防災速報**は、**避難の判断**や**後押し**に活用してください。



早期注意情報（大雨）の例

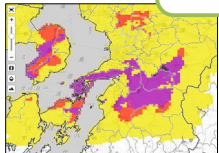
	当日	1日後				2日後		3日後	4日後	5日後
早期注意情報	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	-	-	-	-	-	[中]	[高]	[中]
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-			

キキクル

気象防災速報



3～5日後は大雨の可能性。
今のうちに確認・準備しておこう。



キキクルで
避難判断



段階的に発表する防災気象情報（台風）

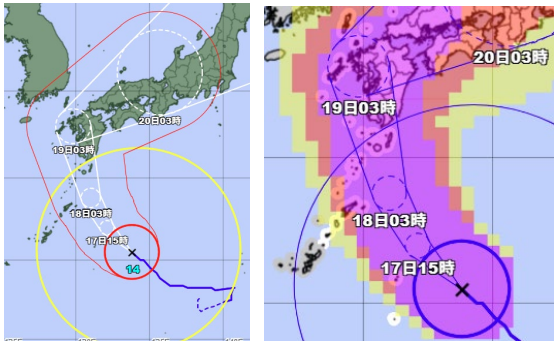


台風経路・強度予報

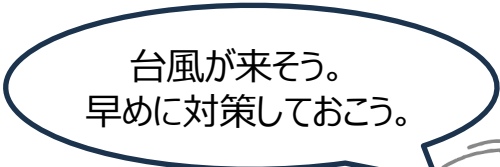
暴風域に入る確率

気象解説情報（台風第〇号）

早期注意情報



福岡県福岡地方	16日	17日				18日		19日	20日	21日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	-	-	[中]	[高]	[高]	[高]	[中]	-
土砂災害	-	-	-	-	[中]	[高]	[高]			
暴風(雪)	-	-	-	-	[中]	[高]	[高]	[中]	-	-
波浪	-	-	-	-	[中]	[高]	[高]	[中]	-	-
高潮	-	-	-	-	-	[高]	[高]	-	-	-



時系列情報（警報等の見通し）

〇〇市		21日		22日								23日
		18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間最大雨量 (mm)		15	15	30	50	80	80	50	50	20	10	
24時間最大雨量 (mm)		250										
大雨												
土砂災害												
暴風 (m/s)	陸上	12	12	15	15	20	30	30	20	20	15	
	海上	15	15	20	20	25	35	35	25	25	20	

警戒レベル相当情報
注意報・警報・危険警報・特別警報

キキクル

気象防災速報

〇〇市	大雨
レベル5相当	
レベル4相当	レベル4 大雨危険警報
レベル3相当	
レベル2	

